

海洋科学技術センター研修報告書

平成12年10月11日(水) 8日目

時間	訓練項目	訓練内容	使用資器材	備考
1時限 08:00～ 08:50	検索法説明 陸上訓練	ロープ展張方法 検索法図上訓練	検索ロープ	合図の徹底
2時限 09:00～ 09:50	スクーバ潜水 (グループ)	基線検索法(海域) (ハーネス・BC) 岸壁からの入水 円形 ジャックステイ (グループ)	検索バディロープ	
3時限 10:00～ 10:50	検索法説明 陸上訓練	基線検索法グループ ジャックステイ (グループ) 展張・検索・収納 コンパス	検索ロープ コンパス	
4時限 11:00～ 11:50	スクーバ潜水 (グループ)	基線検索法グループ ジャックステイ 岸壁 展張・検索・収納	検索ロープ	
5時限 13:00～ 13:10				
6時限 14:00～ 14:10				
7時限 15:00～ 15:50				
8時限 16:00～ 16:50				
9時限 17:00～ 17:50				

研修レポート 8日目

1 時限

検索法説明
基線検索法

ジャックスティ（グループ）検索要領の説明



基線概ね100メートル

検索ロープ 20メートル

基線側が指揮者となり、グループで基線に対して垂直に並び『索をあげ』で索の状況を確認するとともに、目通しで進行方向を確認する。

指揮者の潜降の合図で指揮者はブイから沈垂を伝って潜降する他の者はその場から潜行する。

指揮者は、沈垂に至り基線を保持する。

到着後、索端の者は、他の者の状況を勘案して、指揮者に到着した旨の索信号を送る。

指揮者の索信号により、検索開始、反対側の沈垂に到着したら、指揮者の索信号により半円検索を実施後基線の反対側を、反対方向に検索する。

検索を終了したら、指揮者の索信号により、中間の者は指揮者に寄っていき、沈垂を伝って浮上。索端の者がチェーンノットで、検索ロープを収納しながら指揮者の所までよって行き、指揮者の合図で浮上する。

2・3 時限目

スクーバ潜水

・基線検索法

（グループ半円）

（グループジャック

クスティ）

・ハーネスで2周

BCで2周実施

指揮者側でないダイバーには、小さなブイをつけて、水上安全員により監視。



4 時限目

- ・ 基線検索法陸上訓練（グループ）

マスクなしで1回、暗中マスクを着装して1回実施。

（水中には入ったら一切 言葉を発してはいけない）



- ・ コンパス

コンパスの見方、使用方法を説明



90度（東）270度（西）の表示が逆になっている理由



帰点の使い方等を説明。

- ・ 目標に歩き帰点を使用して元の位置に帰る訓練
- ・ 東西南北に歩き元の位置に帰る訓練
- ・ 90度270度と歩き元の位置に帰る訓練



4～9時限目

スクーバ潜水

- ・基線検索法ジャックスティ（グループ）
海域で、ハーネス2周・BC2周 計4周実施

- ・基線検索法 岸壁（グループ）
2回実施

8日目終了